

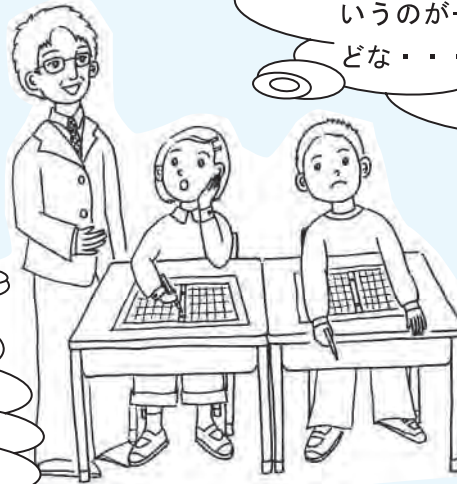
⑦ 書く活動の場面で・・・

▲作文を書くとき、原稿用紙を前に、何も書けない子に
「自分の思ったことを自由に書いてください」と言っていますか？

はい、それでは、自分の思ったことを自由に書いてください。

「自由」「なんでもいい」というのが一番苦手なんだけどな・・・

いきなり、原稿用紙に書けって言われても・・・
何にも浮かばないわ！



【ここがポイント】

① イメージが浮かぶように、事前に準備ができるようにする。

【こんな授業から学ぼう】 国語

教師 (前の週のうちに) ○日には、「私のたからもの」という作文を書きます。

みんなにも教えたい大好きなものを探して、どうしてそれが大好きなのかを、この短冊に簡単に書いてきましょう。家の人と相談するといいいアイデアが浮かぶかもしれませんね。

*いつもは作文が苦手なAさんが笑顔で話しかけてきました。

子どもA 先生、短冊に何枚も書いてきました！

教師 うわあ、たくさん書けましたね。

子どもA 短冊だと、失敗したとき新しいのに書き直せばいいから楽。

教師 そうですね。この中で一番みんなに教えたいのは、どれですか？

子どもA えーと、やっぱりこれかな・・・



短冊を利用して効果的な構成を子どもと一緒に考え、助言したことも短冊に書き足していけば、それを見ながら原稿用紙に書き写すこともできるのだ。

授業力 アップ

■作文や絵など、イメージする力を必要とする課題が苦手な子どももクラスにはいるはずですが。原稿用紙や真っ白な画用紙を前に、何時間も手が付けられないままにいる子どもにとって、その時間は大変辛く長いものでしょう。また、教室に作品が飾られる時に自分の作品を友達のものとは比べ、劣等感を抱いてしまう場合も多いのです。いきなり課題を伝えるのではなく、事前に予告し、書く(描く)ための材料を集めておき、教室では仕上げていくための助言をしていきます。

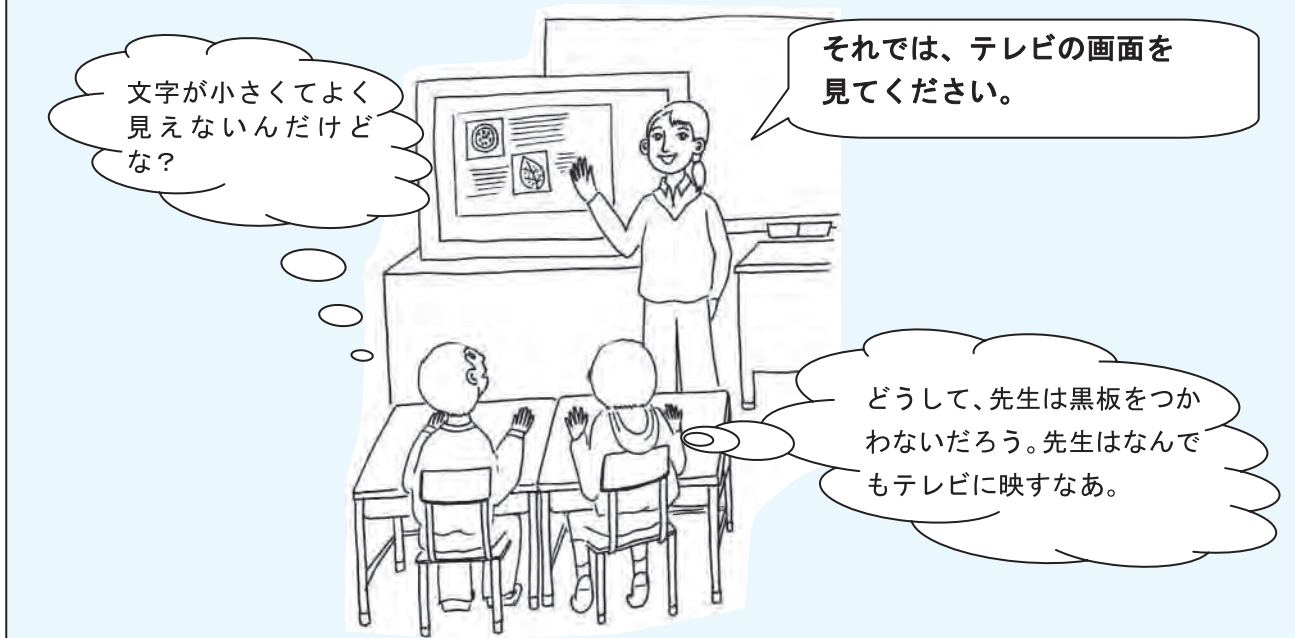
■どの教科等についても、事前に準備することで見通しや自信をもって学習できるだけでなく、自分の得意な学び方を身につけていくことにもなります。

⑧ 50インチテレビ活用の場面で・・・

課題や子どもの考えを一斉提示したいときに

▲50インチテレビに文字や細かい図等を映していませんか？

▲模造紙や黒板を使ったほうが効果的なことを、50インチテレビで提示していませんか？



【ここがポイント】

黒板の存在意義をもう一度考えるのだ。

- ① 50インチテレビは、誰からもよく見えるように置く位置を確認する。
- ② 黒板を介しての教師と子ども、子ども同士の関わり合いを大切にする。

【こんな授業から学ぼう】 社会科



教師	私たちの住む川崎市では、地域によって土地の使われ方や交通にどんな違いがあるのでしょうか。	
子どもA	南の川崎駅の方はお店の立ったビルや人が多いです。	黒板右 1/3 に掛図
子どもB	北の方は緑が多いです。	
教師	そうですね。	子どもの意見を、整理しながら板書していく。
	それでは、実際にどんな様子か見てみましょう。	
	これが川崎駅前の様子です。	

(前方窓側においてある 50 インチテレビに画像を映す。中央に黒板、右側に掛図、左側に 50 インチテレビを配置し効率よく活用している)

授業力 アップ

- なんでも見せればよいのではなく、必要に応じて、拡大することで写真や絵が見やすくなります。動画も再生できます。
- 常時、PC や実物投影機と接続しておくことをお勧めします。休み時間は、ルールを決めて子どもたちに使わせたいものです。慣れてくれば、子どもたちの表現ツールとしても有効に活用できます。ポイントはいつでも使える状態にしておくことです。
- 伝統ある黒板が、子どもにとってもっとも親しみやすいものであることは、今後も変わらないでしょう。メインは黒板です。板書の構想(板書計画)を練る中で、50インチテレビ(ICT)の活用(投影計画)も見えてきます。

⑨ 授業中、みんながうなずきながら話を聞いている場面で・・・



【ここがポイント】

- ①一斉指導の場面でも一人一人の様子に気を留める。
- ②苦手意識のある子どもを事前に把握し反応を見過ごさない。

【こんな授業から学ぼう】 算数・数学

注) 実際には、この場面で教師と子どもAは会話を交わしてはいません。

<Bさんが全体の場で解き方を説明しています>

教師 『Aさんにはこの説明だけでは、理解することが少し難しいかもしれないなあ。』
『Aさんの様子や反応はどうだろう。』

子どもA 『何だかよくわからないや。』
『周りのみんなはわかっているみたい。頭いいなあ。』

<みんなと一緒にうなずくAさん>

教師 『普段に比べて表情や目つきが不安そうだし、うなずき方も少し小さいようだな。』
『うなずいてはいるけれど、理解できていないようだ。』

授業力 アップ

- 子どもには、受け入れられたい、認められたいという欲求が特に強いと言われています。学習に苦手意識をもつ子どもにとって、教師が受け止め、認め、支えてくれるといった安心感は計り知れません。
- 一斉指導の場面でも教師は一人一人の子どもに目を向け、気持ちやしぐさ、表情、言葉などに気を留めてとらえようとするのが大切です。
- できそうな気持ちや自信を感じられるような、ほめる・認める言葉かけや手立てをとりながら、教師と子どもとの関係づくりを大切にした授業を心がけます。
- 精神的に安定すると自己を向上させようとする気持ちも生まれます。子どもの学習意欲の変容にもつながります。

2) 自分の授業を見つめ、めざしたい授業を具体的にイメージしよう

日常の授業の中で「こんな授業をした」と自分の授業を見つめ、そこから「こんな授業をめざしたい」と具体的にイメージしていくことが大切です。

個人あるいは学校の仲間と「ある ある こんな授業場面⑩」をつくってみましょう。

⑩

の場面で・・・

▲

【ここがポイント】

①

②

【こんな授業をめざしたい】

教師

子ども

授業力 アップ



3 授業力を考える

1) すばらしいと感じる授業の共通の要素を考える

「授業力」を向上していくには、めざしたい授業のイメージをもつことが大切です。総合教育センターの指導主事は、拡大要請訪問やさまざまな校内授業研究等で、多くの授業を参観する機会をいただいております。その経験をもとに「今日は、すばらしい授業を見せていただいたな」と感じる授業における共通の要素について議論を重ね、まとめることにしました。ここでは、5つのキーワードと具体的な教師や子どもの姿を提案します。

1 にっこり

- 教師の表情が豊かである
- 言葉づかいを大切に、落ち着いた雰囲気がある
- 子どもが自分の思いや考えを安心して話している
- わかったときの笑顔や笑いがある



2 めりはり

- 始まりの時間と終わりの時間が守られている
- 教師の言葉が簡潔である
- 場面と場面のきりかえがはやい
- 一人、グループ、全体で活動する場面がある

3 つながり

- 教師が一人一人に対して具体的な声かけをしている
- 子どもを信頼し、沈黙の時間も大切にしている
- 子どものつぶやきをとらえ、全体に返している
- 子ども同士の発言がつながっている



4 はっきり

- ねらいが明確である
- 教師と子どもが課題や学習問題を共有できている
- 教師の問いかけがわかりやすい
- 子どもの発言内容や表現がはっきりしている

5 しっかり

- 子どもが学習しやすい教室環境になっている
- 学習に必要な準備が整っている
- 話す・聞く・書く・読むにおける基本的な指導を大切にしている
- 教師が指導の引き出しをたくさんもっている



短い表現でわかりやすい内容になるように何回も議論をしたのだ。拡大要請訪問等を繰り返しながら、内容をさらに更新していくぞ。



2) わたしの授業秘伝をつくろう

授業を通して、わたしの授業秘伝をつくりましょう。はじめから授業のモデルがあるのではなく、毎日の授業からわたしの授業の秘伝を考え、更新していきましょう。自分の授業を見つめることで自分の授業のよさや前向きな課題が見えてきます。

わたしの授業秘伝

1 にっこり

-
-
-
-



2 めりはり

-
-
-
-

3 つながり

-
-
-
-



4 はっきり

-
-
-
-

5 しっかり

-
-
-
-



個人で変えるTRY!

P19、21 ページはセンターのHP（カリキュラムセンター→授業力こだわりハンドブック）からダウンロードできます。個人あるいは学校で作成した場合は、カリキュラムセンター 研究担当宛てにお送りください。授業について一緒に考えていきませんか。よろしくお願いいたします。

4 授業づくりに 総合教育センターも応援しています。

1) センターデータベースの活用について

明日の授業展開どうしよう。困ったなあ。何かいいアイデアないかなあ。

すごいよ。明日の授業にピッタリの教材があったよ。ちょっとアレンジして使わせてもらうよ。紹介してくれてありがとう。

そんな時は校務用パソコンで、センターのデータベースを検索するといいわよ。先輩の先生方が書いた指導案や実際に授業で使った教材がダウンロードできるのよ。

研究紀要や学校の記念誌、寄贈された書籍までデータベース化してあるのよ。どんどん活用しましょう。

指導案データベースの利用方法

ここには先生方が作成した学習指導案・自作の授業教材があります。検索方法は2通りあって、表示されたファイルをダウンロードして利用できるのよ。

あなたが作った指導案や教材も登録してみませんか。指導主事から登録依頼があったら協力してくださいね。

川崎市立学校 校務用イントラネットシステム

ID管理システム	解説書・研修教材	管理運営要綱等
表題集計管理システム	センターデータベース	指導案データベース

まず ① 指導案データベース をクリック

その1 条件で検索する場合の操作

学習指導案データベース 同意書へリンク

現在の登録指導案数は 2482 件です。
現在の登録ファイル数は 3379 件です。(登録指導案数と添付ファイル数の合計)

□条件検索(条件で検索します) □全文検索(キーワードで検索します)

② 画面上をクリック

③ 条件を選んで検索開始ボタンをクリック

検索結果がこの下に表示されます
(次ページ)

(前ページからの続き)

検索結果: 41件見つきました。
指導案データベース
(1件-10件を表示中)

ID	登録日	公表日	教種	学年	教科等	検索文字列	タイトル	作成者	コンテンツの表示
12358	2010/05/12	2010/03/01	中学校	-	特別活動	学級活動(1)	合唱コンクールに向けて	川崎市教育委員会	一次情報参照
12357	2010/05/12	2010/03/01	中学校	-	特別活動	学級活動(1)	授業態度を見直そう	川崎市教育委員会	一次情報参照
11750	2010/02/23	2009/09/17	中学校	3	特別活動	-	中学校最後の合唱をみんなでつくろう	富田猛司	一次情報参照
11748	2010/02/23	2009/11/05	中学校	3	特別活動	-	後輩に伝えたいことを考えよう	角田裕一	一次情報参照
11746	2010/02/23	2009/11/05	中学校	-	特別活動	-	生徒会フォーラムを考えよう	笠井和幸	一次情報参照
11745	2010/02/23	2009/10/22	中学校	3	特別活動	-	④ 一次情報参照をクリックすると	川崎市教育委員会	一次情報参照
11743	2010/02/23	2009/10/22	中学校	-	特別活動	-	次画面でファイル名が表示されます。	川崎市教育委員会	一次情報参照
11733	2010/02/22	2008/07/11	中学校	3	特別活動	-	-	川崎市教育委員会	一次情報参照
11732	2010/02/22	2008/12/05	中学校	3	特別活動	-	思い出に残る学級にしよう	遠藤敏夫	一次情報参照
11731	2010/02/22	2009/01/26	中学校	3	特別活動	-	学級生活、学校生活を見直そう	郡山 直	一次情報参照

添付一次情報一覧

No.	ファイル名	ファイルサイズ
1	特活師範授業指導案.doc	25,695,840byte
2		0byte
3		0byte
4		0byte

⑤ 表示されたファイル名をクリックすると指導案や教材などが表示されます。ダウンロードして活用してください。

その2 キーワードで検索する操作

学習指導案データベース 同意書へリンク 二次情報記入用紙 ヘルプ

現在の登録指導案数は 2482 件です。
現在の登録ファイル数は 3378 件です。(登録指導案数と添付ファイル数の合計)

□条件検索(条件で検索します) □全文検索(キーワードで検索します)

⑥ 画面上をクリック

■キーワード ■条件 ■表示件数 ⑦

分子 | すべてを含む | 10件 | 検索開始 | ヘルプ

日付指定: ⑦ 検索したいキーワードを入力し検索開始ボタンをクリック

指定なし